

『成熟社会を支える未来の水インフラとは？』

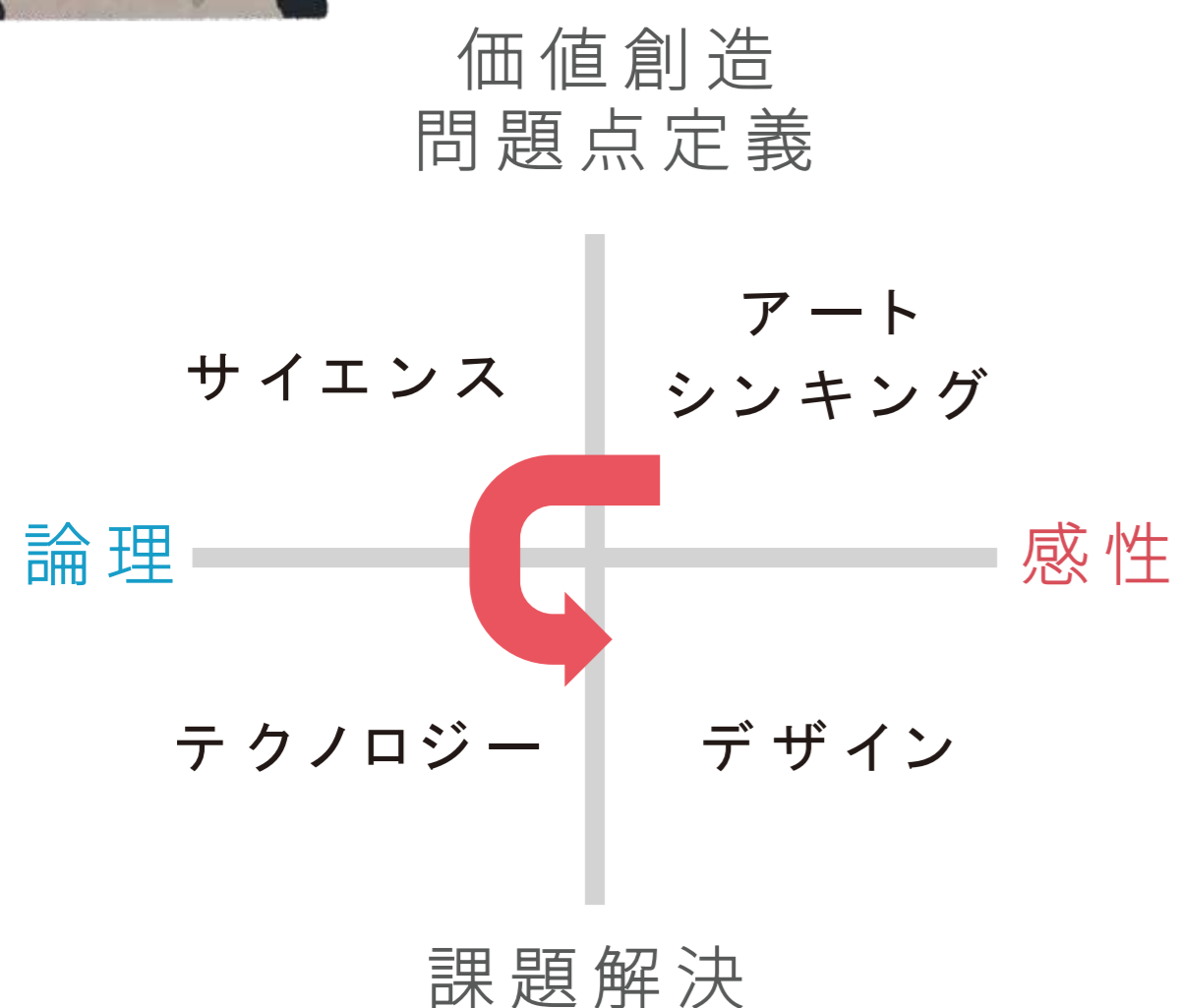
日常に溶け込み、当たり前となってしまった「下水道」... でも、待って!!
先人の知恵によって、これまで何十年もかけて創り上げられた『下水道』は、
劇的に変わりつつある社会に、そして、成熟した私たちの生活に
これからも答え続けてくれるのでしょうか。

時代によって変わりゆく生活には、それぞれ適した新しい下水道の「カタチ」があるはず。

日水コンは、全く異なる分野との『アートシンキング』を通して、
新たな価値を創造するコンサルタントを目指します。



ART × 下水道(「アート下水道」)について



アートシンキングとは、“社会に新たな価値を創造するため、右脳(感性)と左脳(論理)を融合させ、既成概念に捉われず、創造力をもって感性豊かに考えること”と定義しています。

芸術、また建築にも精通していたレオナルド・ダ・ヴィンチの生きたルネッサンス期は0から1が生まれる創造性溢れる時代でした。これがアートシンキングそのものであったと捉えています。

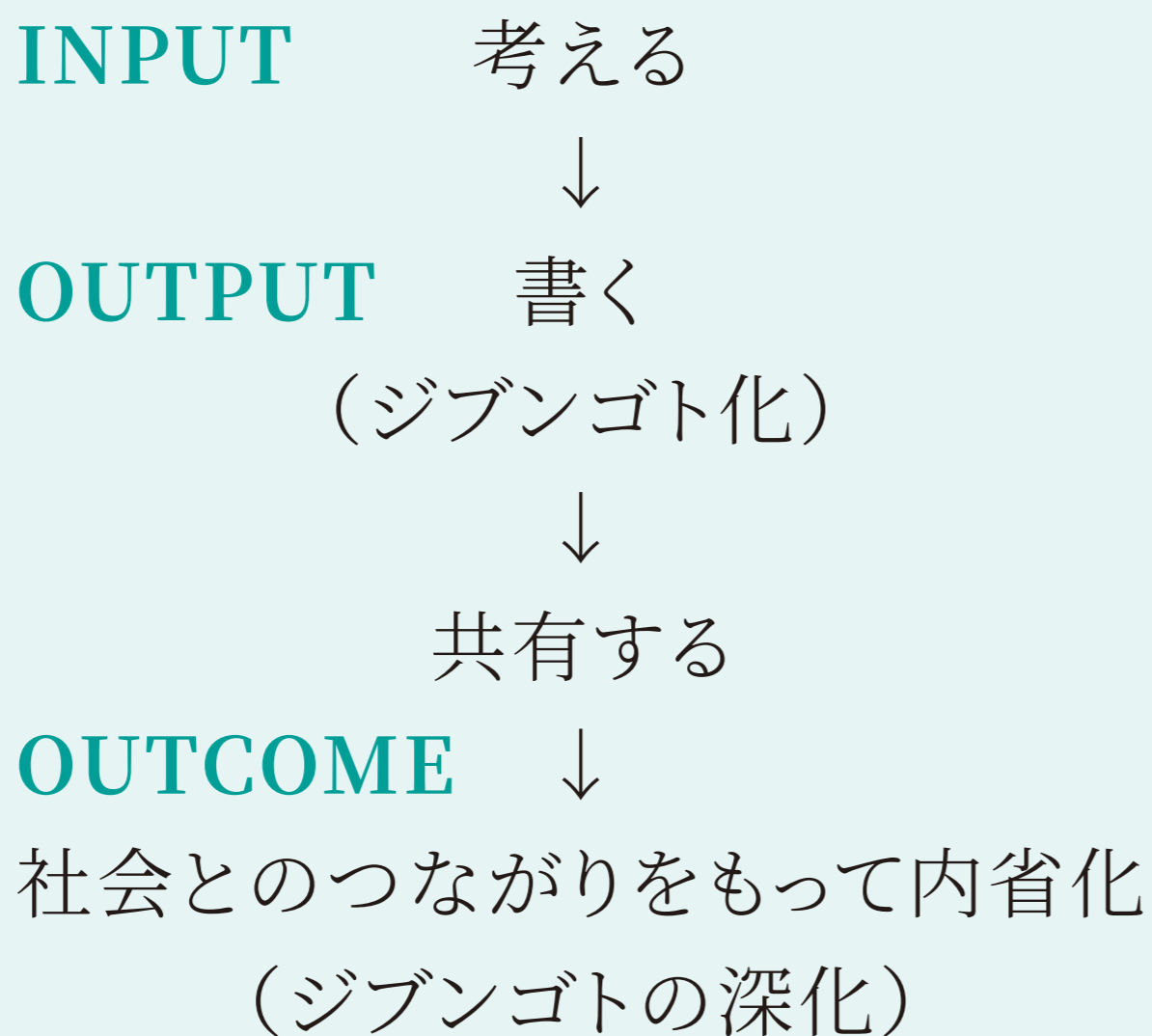
現代のダ・ヴィンチとまでは言いませんが、下水道にアートシンキングを取り入れようとする取組、我々はこれを「アート下水道」と呼んでいます。

今までの活動

01 参加型イベントによるジブンゴト化



下水道展'19と同様に参加型イベント開催中



02 新しい教育のカタチ (異分野との双方向の学び)



日水コン

女子美術大学

教え、教わる。

互いに学びながら作品を創ることで、新しい下水道の「楽しさ」を発見しました。



社内では、現代藝術部(仮)というプラットフォームを立ち上げて、コロナ禍でもWeb会議でアートシンキングを継続中です。

ART × 下水道に興味のある方は、QRコードも是非ご覧ください!

